

奨励賞



設計者

藤原徹平

東京建築士会、フジワラテツペイアーキテクツラボ

共同住宅(専用)

東京都渋谷区

代々木テラス

構造・階数

鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
地上3階、地下1階

敷地面積

343.93㎡

建築面積

203.69㎡

延床面積

750.07㎡

竣工

平成28年11月24日



A



B



C



D

選評

過密化する都市環境の中で計画、実現された地上3階地下1階の集合住宅。9戸の世帯主を募った。計画者によれば、採光や柔軟なプライバシーを考慮した幅2mスリットで分割された3棟を連結、かつすべての住戸が南北の両面に顔を出せるように配慮した。結果として、全住戸が平断面形状の異なる「クロスメゾネット」となった。要はルービックキューブのような分割と、その自在な陣取りによってできた複雑な空間を実現している。それぞれの部屋の都市への開かれ方の多様さ、複雑さなど学びとるべきものは多い。これまで培われてきた都市住宅のための手法が有

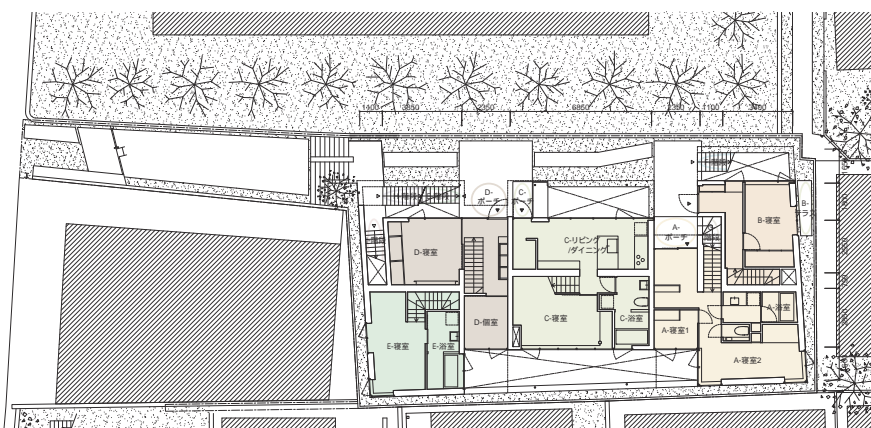
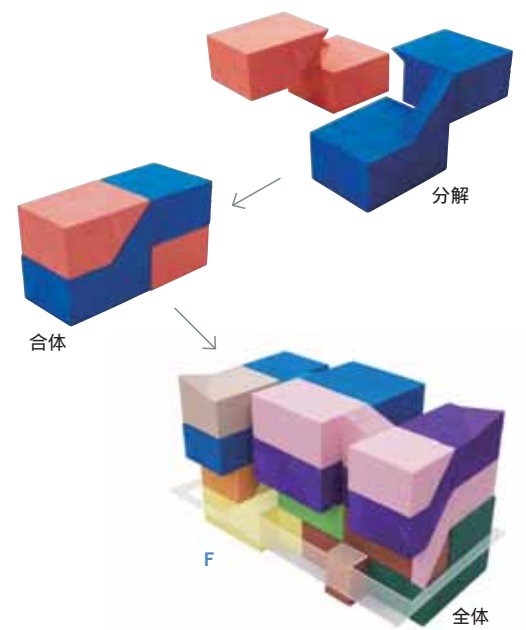
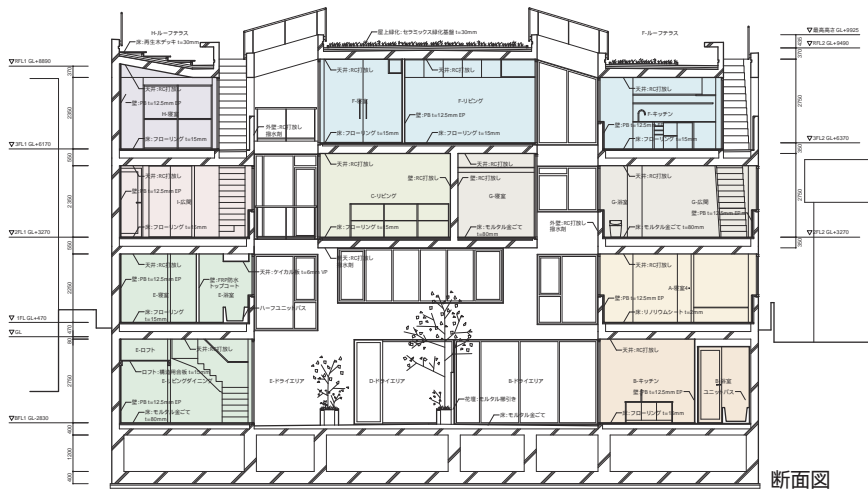
効に組み合わせられている点も評価したい。

一方で、設計者が意図した都心の長屋というプロトタイプに至るための、検討途上であると感じた。採光のために隣地境界間に必然的に現出する隙間を意識した開口など、その発見的な気づきは興味深い。型となり得るほどの都市住宅は、建築と都市からのコンテクスト双方を検討しえた結果から生まれるべきものだし、その結果はより鈍重で普通なものであってほしいと思うからである。

(中谷礼仁)



E



- A サンクンガーデン
- B リビングダイニング
- C リビングダイニング
- D キッチン
- E 北側俯瞰
- F ボリューム模型(分解、合体、全体)